

波紋

1995 12 第126号

次回改善発表会3/30(土)

各サークル改善テーマ

- クランボ (産業) 「THE JITAN パート2」
- ポピー (要工場製造部) 「コツ、コツ、コツ」
- ヒマワリ (商品管理部) 「倉庫の5S・預かり商品の撤退」
- シクラメン (丹後工場製造部) 「縫製部「S」革命」
- レモン (経理・総務部) 「未集金回収・その後：(集金なくして給料ナシ!!)」
- トウモロコシ (営業一部) 「がんばれ孝子さん、フレフレさだ子さん」
- ポテト (営業二部) 「毎度おおきに、金子です。」
- キャロット (営業三部) 「キャロネット」



発表者

「アテにされる会社を

目指し、「一丸となる」

私は20年前より、同友会という中小企業家の団体に所属している。強い体質の会社を作り、良い経営者になり、中小企業の環境を良くしよう!の三つの目標をスローガンに全国4万社程の団体です。

私が皆さんにお話しするネタの多くは、同友会で勉強した事の請売りであります。「教育は共育なり」「当たり前のことを当たり前にできる人間になろう」「小さな会社はやる気がすごい」等も、ここで学んだ言葉です。

教育は共育なり。企業は人なり。経営戦略と人育では、車の両輪だと、私自身頭の中で判っているけれども、現実問題この点が一番の悩みです。社長の仕事で一番大切なのは「人育て」だと思っています。この一年間は過去10年間で一番成果が出たと自分では実感しています。しかしそれは、自分自身の力で育った訳でなく、回りの方々、家族の皆さんのおかげで会社の明るさが増してきたのだと思います。来年も今年以上に「当たり前のことが出来る会社」、「お客様からアテにされる会社」、「アテにされる社員がいる会社(社長)」を目指し、頑張りたいと思います。

12月9日(土)、忘年会に御家族の方に会える事、楽しみにしています。

森 信之

トシ君の一方通行

「慰安旅行大好き」

もう師走ですか、早いですね…というのは真つ赤な嘘。だってこの原稿、締め切りの関係上、当然11月に書いておられます。しかし、今年の1年はとても早かったのは事実です。今年は海外で3回も慰安旅行。東京・大阪の慰安旅行も含めて数え切れない位です。私にとって出張は総て慰安旅行です。だって私の場合、新しい出会いが最高の楽しみ、更に新しい仕事ができるっていうのは最高です。電車賃もホテル代も会社持ち。おまけに日当はもらえるわ、売上は上がるわ、酒は飲めるわ、クレームはつくわ、社長には怒られるわ…。こういう刺激は、ゲームの様でも楽しいです。来年も間違いなく不況であるという楽しい予測。ルンルン気分が慰安旅行が多い年になると思います。世の中の不幸を一身に背負っている様な顔して仕事をしていても、効率は上がりませんよ。そして、少々の成功に自惚れてはいませんかです。この不況は長引きます。常に闘い続けていると勝ち残れない世の中ですから。でもね、どうせ仕事するなら考え方は自由。だから、出張は慰安旅行、クレームはチャンス、怒られたらこの人は私の事を愛してくれてるんだ(…気持ち悪い)と思いなさいな。明るく立ち向かう姿勢は、偏差値が低くても良い人が回りに集まりますよ。さあ、来年もゲーム感覚で仕事をしましょ。悲壮感漂わせていたって誰も同情するかいな。

木村 英利

森松クインテット

「スピードアップ」

最近キーボードをたたく営業の姿を、多く見られるようになりました。私の机にも、新しいコンピュータがドンと置かれコソコソやっております。今まであった物は使いこなしていませんでしたが、今度のは面白そうで、色々早く覚えたいという気になっております。しかし覚えが悪く、加藤(美)さんに助けを借りている次第で、迷惑を掛けています。もう少し我慢してください…。

電子メールも、部内営業はザウルスを購入してくれて、これからどれだけ利用できるか楽しみです。電子メールは前置きが必要ないので、金子君には大変よいと思います。あとは情報量と、営業全員に情報伝達速度をどれだけアップさせられるか、また効率的に仕事をこなし早く済ませるか、スピードをどれだけ上げられるかどうかです。

年をとるスピードだけが早く思うこの頃ですが、早くその仕事を済ませれば他の仕事ができるはず。その時間がどれだけ自分にとって、また会社にとってプラスになるかを考えていくことが、大切だと思っております。

山口 隆弘



喜怒哀楽

「社内報に感謝」

皆様、日頃は当社社内報の「波紋」を御愛読頂きまして、誠に有難うございます。

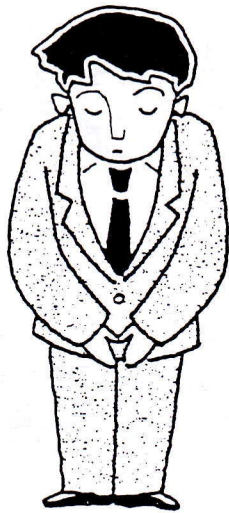
さて、この「波紋」は、今月号で126号となり、初版から数えますと、なんと10年以上になります。編集長に聞いたところ、発行部数は、毎月700部と大変多くの皆様に読まれている事を痛感致します。

その「波紋」ですが、私、営業マンとしては、大変感謝しており、今では、なくてはならない営業ツールの一つです。何故ならば、毎月、必ず社内の行事や出来事を確実に伝えてくれる為、お得意先様などで「先日の展示会どうだった?」とか(ちよつと古いけど)「スーツ売ったんだって」とよく話題になります。久しく会っていない人から、そんなお話を聞くと、有り難く嬉しく思います。また、新規活動においても会社の内容や、今の動きを伝える事ができ、大いに役立っておりますし、遠方のお客様には定期的に訪問出来ない分、私の代わりに情報を提供してくれているかと思えます。

社内報は私にとって、お得意先様や仕入先様をつなぐ重要なパイプ役の一つです。今後多くの皆様に読んでもらう様、営業活動に役立てたいと思います。

PS:「波紋」の記事で一番多く話題になるのは、やはり「トシ君の…」ですね。社内内容どころか筆者の人格までも理解される様に思います。

安井 浩二



この度、一身上の都合により退社する事になりました。約5年間、あつと言う間に何も出来ず過ぎてしまいました。その間、仕入先様、お得意先様、また社内の方々に、大変お世話になりました。先日は、免停の短期講習を受けた際、講師の先生が、「生きる為に法規を守って下さい。点数の為にありません」と、おっしゃっていました。森松では、今さらながら「社会とは」という事を教えられました。これからは、学んだ「今・ここ・人間・鬼」を考えていきたいと思えます。

ありがとうございます。



退社挨拶

大木 隆好

内助の功

今月は、岩間課長の奥様、

敬子さんです。

主人は、子育て・家の事はすべてお前に任せたと人です。

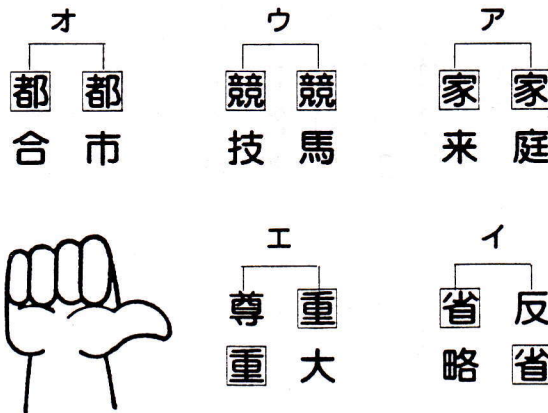
我が家の今の状況では、私が外へパートに出れないので、家に居る私がほとんど家の事をして、主人は会社に行き家族の為に一生懸命仕事をするというスタイルが出来上がっています。ですから、私に対して家の事を良くやってくれていると主人が思っているのであれば、それが「内助の功」と言えるのかもしれない。反対に主人が不満に思っているなら、私は「悪妻」という事になってしまいます。

「内助の功」であるのか？ないのか？主人に聞かなければ解りませんが、口数の少ない主人は、たぶん答えないでしょう。

結婚して14年。主人の性格、私の性格からすると、今の生活スタイルがベストだと私は思っています。少なくとも私は、とても良い主人に貰って頂いたと思っていますと、のろけさせて頂いて終わりにしたいと思います。

クイズコーナー

11月号の答え



※正解者の方には、商品の発送をもって発表にかえさせて頂きます。

平成7年 12月の社内行事

1日(金) 牧野部長中国出張

(～5日迄)

2日(土) 坂口ゆう子さん誕生日

4日(月) 第一土曜日休み

5日(火) 誕生会 12時 4F

9日(土) 家族忘年会 本社5F

11時30分～14時30分

12日(火) 志会 14時30分

13日(水) 橋本留美子さん誕生日

15日(金) 造集会 18時30分

16日(土) 改善会議 18時

18日(月) 第三土曜日休み

20日(水) 編集会議 17時50分

21日(木) 生産会議 17時40分

21日(木) 経営会議 17時

23日(土) 営業会議 18時30分

26日(火) 天皇誕生日

27日(水) 鳥羽主任誕生日

28日(木) 坂本係長誕生日

29日(金) 仕事納め

平成8年 正月休暇

1月7日(日) 仕事始め

8日(月)

仕事始め

1月7日(日)

仕事始め

1996年 Calendar (1月～6月) ○…休日

January 1							February 2							March 3						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
	①	②	③	④	⑤	⑥					1	2	③						1	②
⑦	8	9	10	11	12	13	④	5	6	7	8	9	⑩	③	4	5	6	7	8	⑨
⑭	⑮	16	17	18	19	20	⑪	⑫	13	14	15	16	⑰	⑩	11	12	13	14	15	⑯
⑳	21	22	23	24	25	⑳	⑱	19	20	21	22	23	24	⑰	18	19	⑳	21	22	23
㉑	22	23	24	25	26	㉒	㉓	26	27	28	29			㉔	25	26	27	28	29	30
㉕	29	30	31											㉕	25	26	27	28	29	30
April 4							May 5							June 6						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	⑥				1	2	③	④							①
⑦	8	9	10	11	12	⑬	⑤	⑥	7	8	9	10	⑪	②	3	4	5	6	7	⑧
⑭	15	16	17	18	19	20	⑫	13	14	15	16	17	18	⑨	10	11	12	13	14	⑮
⑳	21	22	23	24	25	㉒	⑱	20	21	22	23	24	㉕	⑯	17	18	19	20	21	22
㉓	22	23	24	25	26	㉔	㉖	27	28	29	30	31		㉗	24	25	26	27	28	29
														㉘	24	25	26	27	28	29

編集後記

先日、中部ビニール卸協同組合主催の「永年勤続従業員表彰」に出席させて頂きました。早いもので、私も入社して5年経ったという訳です。時が経つのは早いと言いますけど、本当に実感します。過去の5年間を振り返ると、誰でも早いものだと思うでしょう。過ぎた時間は決して戻らないし、お金では買うことが出来ません。逆に、これからの5年間と考えれば、どれだけ長いのだろうと思ってしまう……。

これからは、「時間の大切さ」をもっと考えて、有意義に時間を使いたいと思います。時間の使い方は自由だから、「無駄」にするか、「充実」させるかも自由ですからね。

高橋 武夫

編集発行者
森松株式会社

発行責任者
高橋 武夫

平成7年12月1日
第126号